

くしろ



託児付き
安心して研修
できます。



しべちゃ町農業女性カレッジ

「しべちゃ町農業女性カレッジ」では、平成29年4月から講習会、視察を開催、その後は昼食を食べながらの情報交換会（サロン）も行っています。平成29年は女性農業者が延べ240名、平成30年4月開催では56名が参加しました。標茶町外から参加している農業者もいます。女性による女性のための勉強会を合い言葉に運営から講師まで女性主体で行っています。

	所在地	電話・FAX	Eメールアドレス
釧路農業改良 普及センター本所	〒088-2313 川上郡標茶町常盤8丁目5番地	Tel:015-485-2514 Fax:015-485-2249	kusirokita-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路東部支所	〒088-1365 厚岸郡浜中町茶内橋北東31番地	Tel:0153-65-2021 Fax:0153-65-2037	kushiroto-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路中西部支所	〒084-0917 釧路市大楽毛127番地	Tel:0154-57-8306 Fax:0154-57-4702	kushirochu-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp

ホームページアドレス：<http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

重点活動の紹介（本所）

植生改善から繁殖改善へ

2月5日、弟子屈町の上仁多地区酪農振興会（会長狩野秀喜）で懇談会を開催しました。普及センターより、これまで活動してきた植生改善をテーマに、草地がどのように改善されてきたか、積極的に取り組んだ農場の経営の変化について報告しました。

複雑な草地の植生を数値化して計画的な草地更新を実施し、草地管理の上手な農場の施肥管理や刈取り高さを積極的に取り入れました。結果、植生が改善し、乳飼比の低下や所得向上に繋がることが明らかとなりました。



懇談会の様子



繁殖改善に向けた牛群モニター実施中

参加した農家から、「酪農情勢が良い今だから草地に投資しよう」「草地改良を続けること＝酪農を続けること」など、前向きな意見も出され、活動成果を上仁多の皆さんや関係機関と共有できました。

本年より「繁殖改善」に軸足を移し、分娩間隔の短縮に取り組む予定です。植生改善と同様、「現状把握」と「繁殖の達人の技術継承」で改善に向けた取組を実施していきます。

地域の話（東部支所）

関係機関と地区別学習会を実施

浜中町内の農業関係の職員で組織される浜中町農業技術員連絡協議会（浜中技連）による学習会が、3月5日から町内9か所で開催されました。この学習会は、毎年3月に開催する浜中技連の恒例事業で、今年は延べ78人の農業者が参加しました。

学習会では、JAから「妊娠関連糖タンパク質（PAG）検査の活用」、NOSAIから「マイコプラズマ性乳房炎の対策」、普及センター



ペレニアルライグラスの追播は5月上旬にしましょう

から「浜中町における農作業事故の傾向と対策」の3つをテーマに情報提供が行われました。農作業事故について、参加者からは「実習生は牛に慣れていないから気を掛けよう」、「みんなも気をつけよう」など活発で有意義な意見交換が行われました。

また、普及センターが3月に発行した技術資料「釧路管内におけるペレニアルライグラス追播の注意点」の内容も報告しました。「詳しく資料を見たい」との声もあり、ペレニアルライグラスへの関心の高さが伺えました。



浜中は30歳代の事故が多いので気を付けて

近年、草地におけるエゾシカの食害は深刻ですが、実態については明らかになっていませんでした。

そこで昨年、鶴居村において2カ所に調査枠を設置し食害調査を実施しました。今回はA農場の事例を紹介するので参考にしてください。

1. 金網を利用した調査枠を設置

調査枠は、2m×2mサイズの金網で設置しました。資材はコンクリート工事用の「溶接金網」(ワイヤーメッシュ)を用いました。溶接金網は、サイズが1m×2mを6枚使用します。1枚500円前後で入手可能です。設置には10cm程度の結束バンドで固定します。また夜間の食害状況を確認するためセンサーカメラを設置し行動を調べました。

2. 収量調査結果より (H29年)

昨年度、A農場で行った収量調査結果は、1番草時に、食害率40%、食害量1,300kg/10a、2番草では食害率20%、食害量300kg/10a、合計1,600kg/10aでした(図1、2)。

A農場では、食害の実態を数字で初めて知り、食害の大きさに驚いていました。「柵の設置は直ぐには出来ないけど長期的に対策を考えたい。」とのことでした。



夜間出没の様子



調査枠の設置



図1 1番草時調査結果



図2 2番草時調査結果

3. 対策の検討を実施してみてもは？

食害量を把握した後は、大まかに被害金額に換算しどれくらいの額かを確認します。

(国研)農研機構開発の「電気柵導入意思決定支援シート」(図3)を活用すれば、電気柵を設置するのにどれくらいの年数で、設置した費用を回収可能か、シミュレーションできます。インターネットでダウンロードも可能です。詳しくは普及センターまで問い合わせください。

項目	値
推定被害額 (円/年)	45,600
電気柵導入費 (円)	160,000
初期投資回収可能年数	3.5年
判定	導入すべき

B/C (推定被害額×電気柵耐用年数) / 電気柵導入費 = 2.9

図3 電気柵導入意思決定支援シート

平成30年度 普及センターの職員紹介

平成30年4月1日現在



▶ 本所地域係

後列左より：椿、菊池、植月、金子、高倉
前列左より：濱本、吉川、五十嵐、田川



▶ 東部支所地域係

後列左より：森、小野、後藤
前列左より：小川(小)、北、田中



▶ 中西部支所地域係

後列左より：喜多村、加藤、川村、高橋、成田
前列左より：丹羽、沖田、志鎌、植村、山崎



▶ 本所広域担当

後列左より：山田、田川、樋口、大畑
前列左より：小川(邦)、鈴木、市川

鈴木所長	本所	五十嵐次長	標茶町 弟子屈町 釧路町	吉川 地域係長 濱本 主査(地域支援) 田川 主査(畑作)	高倉 専門主任 植月 専門普及指導員 金子 普及指導員	椿 普及職員 菊池 普及職員
	東部支所	北支所長	浜中町 厚岸町	小川(小) 地域係長 田中 専門主任 森 専門普及指導員	小野 普及指導員 後藤 普及職員	
	中西部支所	志鎌支所長	釧路市 白糠町 鶴居村	沖田 地域係長 植村 主査(地域支援) 山崎 専門主任	丹羽 専門主任 川村 普及指導員 加藤 専門普及職員	成田 普及職員 高橋 普及職員 喜多村 普及職員
	広域			小川(邦)※ 主任普及指導員 市川※ 主任普及指導員	担い手 情報・ｸﾞｰﾝ・有機 高付加価値化 広域専門(畑作)	山田 主査 大畑 主査 樋口 主査 田川 主査

牧草の収穫作業が始まりました。農作業事故に注意して作業を行いましょう！